



朽木東小学校 学校だより 第33号

なかよく たっしやで きばる子

令和6年3月5日(火)



気がつけば3月です。卒業式が19日、修了式が22日、そして31日で今年度が終わり・・・、早過ぎます。

さて、2月27日(火)に「しこぶちさん」のアニメ制作記念上映会が本校5年生を対象に行われました。市の文化財課の方による「安曇川と筏流しとシコブチさん」の学習の後、アニメの上映会が行われました。テレビ放映されるということで、たくさんの方が来られ、びわ湖放送のアナウンサーが司会をされ、テレビカメラを向けられながらの学習でしたが、5年生の子どもたちも、感想などを発表しました。



すべてが終わってから、私がインタビューをされました。子どもたちの発表はたいへんよかったのに、私のインタビューは自分でも情けないと思うぐらいだめでした。あそこだけカットしてもらえるとありがたいなどと思いながら、終わって後になってみれば、こう答えればよかった、こういう話をするとよかったというのがいっぱい浮かんでくるんです。時間は取り戻せない、本当にこういうとってよくありますが仕方ありません。いきなり聞かれたのが、「この地域の住民の方々にとって、しこぶちさんとはどのような存在なのですか？」でした。

本校は、いつの時代も地域の皆様に温かく見守られ、育てていただけてきましたので、子どもたちも日々地域へ出たり、地域の方に学校に来ていただいたりして、地域と深くつながりのある様々な学習活動を行っております。今回、制作、寄贈していただきました「しこぶちさん」のアニメとこの日の上映会、私にとってもまたこの地域の大切なものを一つ学べたと思っています。この「しこぶちさん」のアニメは、短いお話の中に、どの学年の学習にもつながるたくさんの要素が盛り込まれており、子どもにもたいへんわかりやすくまとめられていますので、地域の歴史や産業、自然、さらには、強い心、相手の気持ちを考える思いやりの心などについて学ぶ教材として、様々な場面で幅広く有効に活用させていただきたいと思っています。また、このアニメは、ネット上でも公開されておりますので、たくさんの地域のみなさまにもぜひ見ていただければと思います。テレビ放映は3月21日(木)18:10からです。



学校生活をよりよくするために 2月14日(水) 児童集会

今回も委員会から、「なわとび大会に向けてがんばりましょう」や、「学校生活の右・左クイズ」や、「曲に合わせた手の洗い方の練習」など、わかりやすく工夫した提言がありました。高学年児童のプレゼン能力の高さに感心したり、こういう集会をずっとZoomでやっていた頃が懐かしいなあと思ったりしながら見ていました。



冬場の体力づくりの成果を発揮 2月20日(火) なわとび大会

昨年はコロナのため、個人種目のみで行っていたなわとび大会が、今年は大縄を使った種目も復活させて行われました。なわとびは、冬場の体力づくりの一環として推奨しており、本校ではこの期間、弾む板を敷いた練習場も特設されており、休み時間に板が弾む音を響かせながら熱心に練習に取り組む姿が見られます。なわとび大会では、これまでの成果を発揮して、大縄の他にも力強い持久跳びや達人技を披露してくれました。



これまでの感謝の気持ちを込めて 3月1日(金) 6年生を送る会

これまでお世話になってきた6年生への感謝の思いを込めて準備してきた各学年からの出し物とプレゼント、そして、6年生からは、運動会応援合戦のその後など、下級生へのメッセージも込めた出し物が披露されました。集まったみんなが楽しいひととき、そして、心が通い合ったとても心温まる時間を過ごせました。また、この会のために早くから準備を始め、会の運営に取り組んできた5年生の活躍と大きな成長を頼もしく感じました。6年生から5年生に最高学年としての「今年のリーダー」のタスキが渡されました。

